

令和2年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『くじらぐもとゆったりおさんぽ』

あべ もな

阿部 桃夏 さん

(相馬市立中村第一小学校1年生)

令和2年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動の中で感じた思いや願いを、17音で表現することを通して、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

平成14年度にスタートした本事業は、今年度で19回目を迎え、県全体で39,104組の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,674組、「復興部門」に1,007組、合わせて5,681組の応募をいただきました。その中から佳作に9組が入賞しました。県全体の39,104組の中から選ばれたことは、すばらしいことです。

この選考作品集は、相双域内から応募された5,681組のうち、入賞作品及び二次審査通過作品、一次審査通過作品の293組をまとめたものです。

特に「絆部門」では、新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式における日常の中で、相手を思いやる気持ちを表現された作品が多く寄せられました。

コロナ禍にもかかわらずたくさんの応募があったことは、相双域内の皆様に、本事業の趣旨を十分に理解していただいていると、改めて実感しております。これからも、人と人とのつながりと豊かな体験活動等を通して、さらに家庭や地域の絆を再確認する機会となるよう本事業に取り組んでいきたいと思っております。

最後に、毎年本事業にご協力をいただいております各市町村教育委員会をはじめ、各学校、関係機関並びに作品を応募された皆様に心より感謝申し上げます、刊行のあいさつといたします。

令和3年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 佐藤 由弘

掲載作品組数

所属学年	絆部門	復興部門
小学1年生	27	4
小学2年生	25	1
小学3年生	27	6
小学4年生	27	5
小学5年生	22	11
小学6年生	29	5
中学1年生	28	10
中学2年生	28	6
中学3年生	21	10
高校生	0	1
合計	234	59

佳作作品（絆部門）

ゆかた着て
今年はお家で
夏まつり
（相）大野小 三年 新開 心優希
いらっしゃい！
今年は初の
家まつり
母 新開 恵理子

「大じょう夫？」
こまっっていると
母がくる
「手伝うよ」
今は私が
助けられ
母 高倉 佳愛

いったって
辛い顔なし
母女優？
石神中 三年 遠藤 美涼
演技なし
我が子の笑顔
親の幸
母 遠藤 美智子

花火見て
笑顔の祖母と
語り合う
石神中 三年 中塚 優奈
濡れ縁に
集う孫らと
祖母 中塚 よね子
夕涼み

佳作作品（復興部門）

朝早く
みんなで決辺
ゴミ拾い
（相）大野小 二年 木幡 悠馬
セミが鳴き
もう三度目の
海開き
父 木幡 賢太郎

浜通り
新たな産業
期待して
母 後藤 文絵
未来への
ふくしまつなぐ
ロボットよ
原町三小 五年 後藤 葉月

橋や道

いろんな施設

できていく

新地小 六年 森 巨輝

ああ確か

ここは駄菓子屋

あった場所

母 森 亜由美

時が経ち

ふたば未来学園中 一年 鈴木 里桜

復興導く

桜道

娘の名

由来の並木

永遠に咲く

母 鈴木 友紀

風にのる

電車の音は

復興音

尚英中 二年 但野 紗弥

この音は

明日につながる

希望の音

尚英中 二年 名取 沙彩

二次審査通過作品（絆部門）

お父さん 一人でお風呂 先どうぞ
寂しさと 成長感じ 一人風呂
かくれんぼ 姿見ても 探すぶり
ありがとう ぼく知ってるよ やさしさに
ふる会議 母と相談 こまり事
湯気の中 親子の会話 あたたかい
今の背は 当時の父と ほぼ同じ
父と子が 家の柱に 背の記録

桜丘小 四年 但野 結々
父 但野 雅春
桜丘小 五年 相良 幸子
祖母 高野 勇我
小高小 五年 茂木 きらら
母 茂木 美紀
日立木小 六年 臺内 李紗
父 臺内 健

二次審査通過作品（復興部門）

負けてない 桜並木は いきている
九年ぶり 目にした桜 変わらない

ふたば未来学園高 二年 大井 瑠月
ふたば未来学園高 一年 大和田 紗希

一次審査通過作品（絆部門）

じしゅくちゅう ことしはおにわで プールだね
自肅中 ママはプールの 監視員

新地小 一年 平間 歩果
母 平間 彩夏

なつやすみ おうちでプール たのしいな
子供たち 蛇口全開 母焦る

新地小 一年 西谷 柚
母 西谷 千恵美

【小学校 一年生】

なつやすみ ことしのなつは みじかいな
コロナ禍で パパの背中が 遊園地

新地小 一年 渡邊 怜奈
父 渡邊 浩司

できること たくさんふえたよ ひとりでも
嬉しさに 寂しさを交じる 親子

(相) 大野小 一年 笹木 心陽
母 笹木 律子

おせんこう あげたあとには アイスクリーム
蕎麥 大きくなったと 風の音と

(相) 大野小 一年 遠藤 陽翔
父 遠藤 誠一

マスクごし ともだちおもうも なつやすみ
だいじょうぶ こころのきよりは はなせない

中村一小 一年 上原 莉夢
母 上原 彩乃

ランドセル 背負ったとたん お休みに
パンデミック ピンチはチャンス がんばって

中村二小 一年 沼崎 陽人
母 沼崎 彩香

あしたはね あさがおいくつ さくのかな
夢色の 君の未来も 花開け

中村二小 一年 鈴木 陽奈子
母 鈴木 香澄

うれしいな ちいさなおてて にぎった日
弟を 見つめる姿 頼もしく

中村二小 一年 早川 心陽
母 早川 華奈衣

なつやすみ およぐれんしゅう がんばった
手がかる それでもパパの たからもの

桜丘小 一年 佐藤 春希
父 佐藤 幸路

あたらしい くつがないてる うんどうかい
コロナ禍で 記憶残らず かわいそう

桜丘小 一年 宮下 小夏
父 宮下 秀憲

なつのひに にわでのプール ひとりじめ
プール出す 子供の笑顔 みるために

磯部小 一年 菊地 夏々美
父 菊地 和博

あさがおが ぼくよりのびた まけないぞ
伸びたつる 水やる息子と 重ね見て

原町二小 一年 星山 晴
母 星山 真弓

くるまいす ばあばのせをおす さんぽみち
後ろから 二人を見ては 笑みがでる

原町二小 一年 大橋 八真斗
母 大橋 美恵子

おいしいな 母のてづくり なすいため
手料理も 娘の笑顔で 五つ星

原町三小 一年 志賀 幸歩
母 志賀 光佐子

ドライヤー しながらこうかを だいがっしょう
歌声で 気分つたえる 一年生

原町三小 一年 今野 有栖
母 今野 桂子

おくれたも わたしたかった プレゼント
母の日後 過ぎてても嬉し ひるねけん

原町三小 一年 母

佐藤 美月
佐藤 女公美

朝おきて ねているママに チュウをする
君起きる 寝たふりしながら チュウを待つ

新地小 二年 母

藤田 修平
藤田 麗子

ままとやく おいしいにおい くれーぶだ
おそろいの えぶろんふたりで かしづくり

太田小 一年 母

櫻井 こころ
櫻井 優子

ぼくがやる 母のかわりに さらあらは
はりきって やってくれたのは 最初だけ

山上小 二年 母

佐藤 陽斗
佐藤 朋美

おわかれに あげたひまわり いまみごろ
一年生 あさがお日記 友思う

石神一小 一年 母

上田 乙姫
上田 栢子

やっと来た 何から言おう ババ聞いて
たいたいも 言う間もなく 聞いてババ

中村二小 二年 父

牛波 結菜
牛波 正義

おかあさん てづくりますく ありがどう
子を想い 眠気しりぞけ ミシンがけ

石神二小 一年 母

長沢 昊生
長沢 典子

マスクして コロナになんか まけないぞ
手作りの マスクに込めた 子の健康

中村二小 二年 母

村松 凧紗
村松 祐季

おねちゃん あえるひまつよ いつまでも
逢えずとも 心でつなぐ 家族の輪

石神二小 一年 母

古川 心陽
古川 亜希子

ナイターで 父のクロール お手本に
「あと少し」 ここまで泳げと 手をのばす

桜丘小 二年 父

齋藤 茜
齋藤 重宗

おかあさん ギュッしたら あたたかい
娘との つないだ手と手 あたたかい

鹿島小 一年 母

朝倉 瑠美
朝倉 美和

コロナだよ パバも一しよに ゲームしよ
子が正す 出掛けたいのは 親のほう

桜丘小 二年 父

千葉 拓真
千葉 敬太郎

おてつだい がんばるからね おこづかい
ありがどう りゆうはどうあれ しあわせです

鹿島小 一年 母

高玉 結衣
高玉 梨絵

じしゆく中 おうちにできた ゆうえんち
日曜日 父の本領 発揮する

飯豊小 二年 父

青田 瑠那
青田 栄記

げんきよく いきますと そとにでる
ランドセル もって行ってね わすれたよ

鹿島小 一年 母

原 歆大
原 郁恵

あさはん パンでいいよね おとうさん
朝食の 準備で感じる 子の成長

飯豊小 二年 父

林 月菜
林 貴之

虫取りに 車走らせ コガネムシ
あみの中 トンポバタバタ およいでる

榎葉南小 一年 父

松本 文弘
松本 惇弘

夏休み あいづに行つて すいかとり
孫のため すいかとらずに 待つ祖父母

原町二小 二年 母

小林 怜愛
小林 こずえ

やさしい母 ボクのわるさで つの生えた
懐かしむ ハイハイしていた 我が息子

広野小 一年 母

小西 遥真
小西 幸恵

水あそび よういするはは あせみずく
プールにて はしゃぐ子の声 母涼む

原町二小 二年 母

遠藤 絢
遠藤 裕美子

おぼえたよ あかあおみどり みちのいろ
みているよ カタカナなぞる 小さな手

一年 教師

鈴木 愛蓮
高橋 七恵

大丈夫 僕が治すよ 痛い足
痛む足 さする孫の手 あたたかい

原町三小 二年 祖母

小島 優真
小島 弘子

【小学校 二年生】

お母さん いつでもいいよ かたたたき
ありがどう 気持ち伝わる 手の強さ

新地小 二年 母

駒木根 幸希
駒木根 のぞみ

時こく習い 時計とにらめっこ 母を待つ
時計ちら見 残業ない事祈る 母こころ

原町三小 二年 母

青柳 瑛大
青柳 圭子

あつても はたけでがんばる おばあちゃん
孫からの 差し入れ片手に 精を出す

新地小 二年 祖母

齋藤 奏人
加藤 のぶ

ごみすてで ごみをいっぱい はこべたよ
ごみすてに わかうこころも かるくなり

高平小 二年 母

佐々木 悠哉
佐々木 さゆり

たまにはね 一人でおとまり ばあばのいえ
おねえちゃん いないとやっぱり さみしいな

ゲームやり できなくなつて パパをよぶ
助け人 子供達より 本気顔

たまごやき 一ばんすきな ははのあじ
あの味は あなたの祖母の かくし味

じてん車が サビていたから おどろいた
あの時の キズやへこみも 思い出に

あいたいな ステイホームで でんわだけ
これは孫 こっちはひ孫 一安心

今日もまた ばあのごはんが おいしいよ
祖母の飯 これが無ければ 成り立たぬ

おでこがね パパとそっくり おもしろい
ぱっちりのおめめパパに そっくりよ

おばあちゃん げんきでいてね いつまでも
薬より 元気の源 孫の顔

ジュージュと おいしい音だ 母のまほう
すすくと 育つてほしいと 願ひ込め

【小学校 三年生】

じいちゃんの 畑はぼくの やおやさん
本日も お代のかわりは その笑顔

おくりびで ごせんぞさまを おみおくり
送り火を 見つめる我が子 優しい目

そろそろね 外でつなぐ手 はずかしい
もう少し つないでいたい かわいい手

たくさんの マスクを作る 母とそ母
空き時間 ミシンの音が ひびく部屋

太田小 二年 妹 山本 美嘉

ひさびさに ともだちに会える 登校日
元氣よく いつてらっしゃいと 声かける

中村二小 三年 母 愛澤 叶依

愛澤 恵美

石神一小 二年 父 大谷 綾乃

友だちと 毎日あえて 楽しいな
笑顔を見せ 話す姿に 母嬉し

中村二小 三年 母 齋藤 大寿

齋藤 恵

石神二小 二年 母 西内 晴香

「ごはんなに？」 かいほうされる あと少し
あとすこし 三食母の 手りょうりだ

桜丘小 三年 母 末永 洋子

末永 輝

石神二小 二年 母 菅野 陽生

父みたい ちいさいころの どうがみて
動画みて 娘の姿 我が分身

桜丘小 三年 父 伊藤 羽琉

伊藤 浩之

鹿島小 二年 母 菅野 貴恵子

なつやすみ とくいなになった みじんぎり
ママこれも？ たのおとすべて みじん切り

桜丘小 三年 母 大竹 葵来

大竹 美友

鹿島小 二年 母 青田 千枝

じしゅく中 ネットで友と つながった
自肅中 きゅうりのネットに からまった

飯豊小 三年 母 渡邊 香奈恵

渡邊 愛絆

上真野小 二年 母 遠藤 優香

何ヶ月？ やつと会えたね おばあちゃん
祖母もまた 涙でぼやける 孫の顔

飯豊小 三年 父 佐藤 栄伸

佐藤 静波

広野小 二年 祖母 北郷 和子

うけてみる ぼくのなげる ごうそっきゅう
ストライク 息子の成長 かみしめる

日立木小 三年 父 池部 剛康

池部 結人

佐藤 黎生

さいごまで 一人でできたよ たまごやき
手助けを がまんし覚えた 母の味

原町一小 三年 母 鈴木 わかな

鈴木 史帆

とうろうと まきの明かりで じじむかえ
新盆が 終われば静か 母寂し

原町二小 三年 母 若槻 凛

若槻 喜子

新地小 三年 祖父 川崎 蓮武

おせんとく たたんでわかる たいへんさ
家族には いつもきれいな 身だしなみ

原町三小 三年 母 渡邊 心乃

渡邊 祐実子

駒ヶ嶺小 三年 父 菊地 芽生咲

おばあちゃん かわいいマスク ありがどう
猫マスク かわいい子ぶた 犬マスク

原町三小 三年 父 佐柄 真紀

佐柄 英人

(相) 大野小 三年 母 佐藤 映実

ママいいよ せんたくほしを わたしやる
助かるよ 干してる手つき まるで主婦

高平小 三年 母 高平 英子

高平 あかり

中村一小 三年 母 古山 康太

スーパで おかしがおかず まようばく
買い物中 気づけば息子 親の真似

石神二小 三年 父 菅野 晴空

菅野 考二

休みの日 早く目がさめ ゲームする
平日は 何度も叫ぶ 起きなさい

お父さん はなれていても だいすきだ
帰るたび 大きくなる子 いとおしく

おぼん中 会いたくなったよ おぼあちゃん
いつまでも 見守っててね お母さん

大切な 一つのいのち 生まれたよ
ママ気取り 幸せそうに あやす姉

はかまいり なつかしそふば 会いに行く
亡き親の 墓前で見る 子の成長

おいしいね つった魚で パーベキュー
マスクとり 自然遊びは 千金一刻

ちからわく そ母と一しよに うつたいこ
孫と打つ 天神だいこ 響く和へ

手をつなぎ え顔あふれる 町になあれ
震災で 他県で誕生 元氣孫

【 小学校 四年生 】

女子トーク 鬼滅の刃 もりあがり
子どもの 会話するため 読みまくり

水しぶき ばつと虹出で 笑顔さく
朝顔に 大きくなれと 願い込め

お母さん 今日は見てね ぼくの試合
母行くよ 今日一日 あなたの日

父の日の プレゼントには 作業服
革刈りに 使って汚すは 忍びなし

がんばる手 ハンドクリーム ぬったげる
優しさと 君の笑顔が 万能薬

石神二小 三年 母

鹿島小 三年 父

鹿島小 三年 母

鹿島小 三年 母

鳩原小 三年 母

双葉南小 三年 母

楢葉北小 三年 祖母

広野小 三年 祖母

新地小 四年 教師

駒ヶ嶺小 四年 母

駒ヶ嶺小 四年 母

八幡小 四年 父

中村一小 四年 母

佐藤 彩人
佐藤 晴香

塩谷 航平
塩谷 明広

酒本 龍牙
酒本 木綿子

西村 湖遥
西村 綾香

小山 大貴
小山 敬子

柳瀬 妃那
柳瀬 妃人美

湯田 彩那
岩間 美津江

志賀 安佐子
志賀 ミイ子

小野 美優
高橋 澄子

八巻 由稀南
八巻 衣里子

市川 凱暉
市川 智嘉子

飛田 俊一朗
飛田 修一

青田 梨愛
青田 明美

ぼくたちを 見守るやさしい 地域の日
地域の目 届かぬ親の 目を助け

お料理を 作る楽しさ おぼえたよ
はじめての 娘の味は 卵焼き

夏の空 流れる星よ 天へ行け
流れ星 祖父と君とを つなぐ星

弟の ひるねタイムが 楽しみだ
日曜日 声をひそめて クッキング

新しい 家族ができて 大にぎわい
赤子には 笑顔をみせる 反抗期

「ママも見た？」 空に描かれた ニコマーク
青空に 笑顔描かれ 幸思う

夏休み やつと会えるね おじいちゃん
また来たね 孫に元気を もらう夏

早起きし 内緒で作る 朝ごはん
炒り卵 誇る我が子が 誇らしい

ふるさとで 待ちにまったよ 海開き
故郷の 心やすらぐ 波の音

おうち時間 鬼滅の刃に くぎづけだ
そのくらい 全集中で 勉強も

お米とぎ 水量気かけ のぞきこむ
まかせてよ お水は線より ちよっと上

手作りで 娘の顔びったり マママスク
ありがどう しっかりマスクで 安心だ

縁側で 氷菓子拗う 小さな手
おぼあちゃん アイスクリーム おいしいね

つながるよ スマホ片手に 笑い声
画面越し 再会誓う いとこ達

中村二小 四年 母

中村二小 四年 母

桜丘小 四年 母

飯豊小 四年 母

日立木小 四年 母

原町三小 四年 祖父

原町三小 四年 母

石神一小 四年 父

石神二小 四年 母

鹿島小 四年 母

鹿島小 四年 母

鹿島小 四年 曾祖母

上真野小 四年 叔母

今野 郁太
今野 智恵

佐藤 由阿
佐藤 あずさ

菅俣 羚
菅俣 美和子

茂木 美月
茂木 智恵美

門馬 琥太郎
門馬 裕絵

阿部 恵佑
阿部 千春

新妻 蒼史
三浦 洋二郎

原 要
原 まこと

青田 瑠花
青田 浩二

伏見 小夏
伏見 由美

渡部 弥
渡部 妃咲

鈴木 直子
鈴木 美佳子

佐藤 芳子
石井 良更

高橋 和希
小野 真弓

お母さん 帰りがおそい 心配だ
残業中 子の心悪い 時計見る

昼ねする 母にもうふを そつとかけ
ありがとう 気分かぬふりして また眠る

自転車で わくわくさんば 楽しいな
ひざぶつけ 痛みわすれて 乗る我が子

夏休み 新作ゲームを 初クリア
集中力 違うところに 発揮して

晴れ着着た 姉の姿に あこがれる
この着物 いつかあなたも 袖通す

じいばあと ラジオ体操そう 一二三
帰省子の なくて静かな タベかな

【 小学校 五年生 】

今日あのお フロではじまる 女子会が
また今日も 二人なかよく まっかつか

ドキドキの 放送委員 初仕事
なまってる がんばれわが子 笑顔まっつ

抱きしめて パバのおなかは やせたかな
デブは嫌だ それから始めた ダイエット

テレワーク マイオフィスは 徒歩ゼロ分
いつもより 家族の時間が 増えたよね

休日に ゲームやりすぎ 母激怒
将来の 自分の姿 考えよ

弟の 仕上げみがき いやじゃない
ほっこりと 聞こえてくるよ 母代わり

6段階 変速ギアで 風をきる
ペダルこぐ ぐんぐん進む 未来へと

なみえ創成小 四年 母 島山 泰稀
島山 寿美江

葛尾小 四年 母 山崎 陽向
山崎 美穂

双葉北小 四年 母 脇坂 くるみ
脇坂 真里

富岡一小 四年 母 加藤 百花
加藤 早苗

楳葉北小 四年 姉 遠藤 紗奈
遠藤 諒夏

広野小 四年 祖父 小野 いすず
芦川 鋭章

福田小 五年 母 菅野 心愛
菅野 香織

駒ヶ嶺小 五年 父 本多 陽翔
本多 榮一

(相) 大野小 五年 父 新明 日和
新明 和雄

八幡小 五年 母 富田 菜穂子
富田 海結

八幡小 五年 母 桑井 洋輝
桑井 良子

中村一小 五年 母 松崎 恋夢
松崎 美香子

中村二小 五年 母 大和崎 健心
大和崎 望

ステイより やっぱいいな GOTOスクール
マスクより 早く見たいね みんなの笑顔

旬野菜 母に学びて 家の味
共に立ち 娘の姿に 母惚う

残念だ 遠い所に 行けなくて
子と違い 短い休暇 満足だ

コロナ禍で テレビ電話で 兄帰省
墓参り 兄の分まで 願う君

ランニング ぼくはきそトレ 母げんりよう
子の為と 一石二鳥の ダイエット

おばあちゃん ぼくがつかなくよ 手を出して
墓参り 孫が手をひく 母老いし

蚊の音で お祭りさわぎ 家の中
コロナ禍で 騒ぐ家族に 蚊も緊張

忘れてた あわてて帰り 風呂洗い
知ってるよ 急いで帰宅 顔の汗

お母さん ちゃんと持ったね エコバック
忘れがち 言われて気づく 必需品

入院中 いたくて早く 帰りたい
弟が いないくて長い 八日間

反抗期 嬉しいはずが つい激怒
わかってる だいききなのに うるさいな

テストみて 早くみせたい 満点を
ニコニコと テスト渡され かわいいな

夏休み プールで祖母と おにごっこ
クロールの 孫の息継ぎ 盗み見る

中村二小 五年 母 大槻 真奈美
大槻 由紀子

中村二小 五年 母 紺野 陽愛
紺野 禎子

桜丘小 五年 母 伊藤 脩平
伊藤 倫子

桜丘小 五年 母 小野田 美咲
小野田 敬子

飯豊小 五年 母 林 創士
林 小百合

原町一小 五年 母 白岩 蒼獅
白岩 千里

原町二小 五年 父 岩橋 紗也
岩橋 哲也

原町三小 五年 母 渡邊 慎乃介
渡邊 祐実子

高平小 五年 母 光居 秀晃
光居 美穂

石神二小 五年 姉 佐藤 瑠人
佐藤 涼夏

鹿島小 五年 母 森泉 絢子
森泉 謙

鹿島小 五年 母 鈴木 優羽
鈴木 祐子

川内小 五年 祖母 緒方 穂乃花
緒方 カネ子

【小学校 六年生】

熱心に 飛び方教える 親つばめ
 巣立つ雛 見守り続けた 3週間
 リモートで お盆のあいさつ こんにちは
 会えなくても 繋がってるよ リモートで
 姉ともに すごせる日々は あといくつ
 けんかさえ 楽しむ夏よ 弟と
 父さんと 古代の火起こし 大変だ
 災害に 備えて教える サバイバル
 梅雨の夜 見守ってほしい 成長期
 口喧嘩 親の心は 梅雨模様
 あうたびに 目線近づく 祖父母たち
 会ったびに 結ぶ手の位置 高くなる
 家こわし 近くにひっこす ご近所さん
 淋しいな ここにもお家が あったのに
 不器用で 髪を結べず ゴム絡む
 初髪を 結ぶ姿や 兄の顔
 夏休み 弟背負い お手伝い
 姉の愛 幼き胸に 伝い笑み
 ディスタンス 心と体は 反比例
 暑くても 人混み恋しい ディスタンス
 森をかけ 兄弟いっしょに 風となる
 かきわけて 小川飛び越え 秘密基地
 母さんの 料理がコロナで 美味になる
 近づけぬ 机の上は 課題密
 卵焼き 今日ほできたぞ 自信作
 これは美味しい! そっと隠れて 塩を足す

福田小 六年 杉江 絵莉香
 母 杉江 裕子
 駒ヶ嶺小 六年 加藤 来翔
 母 加藤 恵
 (相)大野小 六年 武澤 侑輝
 姉 武澤 里美
 (相)大野小 六年 中尾 奏心
 父 中尾 忠久
 八幡小 六年 武野 優花
 母 武野 敬子
 中村一小 六年 杉本 優奈
 祖母 渡部 喜世美
 中村二小 六年 青田 輝
 母 青田 寿絵
 中村二小 六年 阿部 瑞樹
 母 阿部 奈緒
 桜丘小 六年 佐々木 汐風
 父 佐々木 友啓
 桜丘小 六年 齊藤 司京
 父 齊藤 公男
 桜丘小 六年 横山 実
 母 横山 優子
 桜丘小 六年 佐川 琉菜
 母 佐川 智美
 飯豊小 六年 唯野 愛琉
 父 唯野 善広

来年は 白に一つけ 百祝う
 ひ孫らと 白寿を迎え 夢のよう
 少しでも 体力向上! ストレッチ
 少しでも 脂肪燃焼! ストレッチ
 クラスでの 出来事を聞き 笑う祖母
 今日もまた 孫の話で 花が咲く
 手をにぎる いつもとちがう 手のかんじ
 母の手が 小さくなった 気のせいか
 祖母からの かわいいマスク うれしいな
 会えずとも 手作りマスクに 祖母の愛
 ワタリガニ ルビーみたいに 目がきらり
 夏的大海 膨らむ期待 大物か?
 今が旬 戻り鱈で タごはん
 夕飯の 鱈で焼き漬け 朝ごはん
 何入れる いつもと同じで いいのにな
 何入れる? いつもと同じじゃ いやだよ?
 朝ごはん 母とつくった 夏休み
 野菜切る 息子の指先 ハラハラと
 今日何個 手のひらを見る 赤トマト
 この夏も 元気の素は 子の笑顔
 ぬかしたよ 相馬はあばと 背くらべ
 気がつけば 大人階段 登ってる
 雑草が 家をかくすよ ぐんぐんと
 それよりも 大きく育て 望む母
 孫飼う イモリ元気に 飼育箱
 おばあちゃん すきになったね 八虫類
 コロナ禍を 力合わせて 乗り切ろう
 会話増え 家族団欒 笑顔かな

磯部小 六年 佐藤 優介
 曾祖母 細田 スイ
 原町一小 六年 佐藤 夏萌
 母 佐藤 公子
 原町二小 六年 安齋 未玲生
 祖母 安齋 恵理子
 原町三小 六年 手戸 みきこ
 母 手戸 翔空
 原町三小 六年 立野 陽聖
 母 立野 由美
 高平小 六年 仲野内 涉
 父 仲野内 勇作
 石神二小 六年 及川 幸子
 母 及川 莉優
 石神二小 六年 菅原 理央
 母 菅原 志津子
 鹿島小 六年 伊在井 謙介
 母 伊在井 真希
 鹿島小 六年 森 安南
 母 森 明実
 上真野小 六年 高橋 実夢
 母 高橋 美和子
 なみえ創成小 六年 舟ヶ崎 隼杜
 母 舟ヶ崎 麻美
 川内小 六年 松崎 晴子
 祖母 松崎 拓音
 榎葉南小 六年 根本 あかり
 母 根本 美香

【中学校 一年生】

おばあちゃん ぼくが居るから だいじょうぶ
骨折れる ひ孫に介護 受ける歳

広野小 六年 曾祖母
菅野 悠晃
菅野 定子

毎日の 練習実る 優勝だ
転ぶ日々 皆でトロフィー つかむため

磯部中 一年 嵯原 里桜
磯部中 二年 福島 花菜

澄む夜空 未来を記す 流れ星
川の字で 窓から数える 流星群

中村一中 一年 母
波邊 藍
波邊 多恵子

金管の 音色はばたく 青い空
音符雲 空見てかぞえ 娘待つ

原町一中 一年 母
菊地 真理恵
菊地 慎子

真夏には 過酷な道着 日々痩せる
剣道着 凛々しく感じる 我が息子

中村一中 一年 父
杉 明紀良
杉 知重

おはようと 笑った顔も マスク越し
また明日 聞けたらいいな 友の声

原町一中 一年 母
田村 結永
狩野 ちな

収穫だ 赤増すトマト 食卓へ
庭先の トマト実りて 鈴となる

中村一中 一年 母
伊東 奈津
伊東 利江

あこがれの 強くてやさしい お母さん
暖かい 笑顔に今日も 元氣出る

原町二中 一年 母
毛利 暖
毛利 早苗

宿題の ノートを開けば 蚊のしおり
蚊が飛ぶと 朝日の前に 起こされる

中村一中 一年 父
遠藤 美咲
遠藤 琢磨

父さんと 道路の草とり にこにこ
繁茂する 草を刈る背を 模範とす

原町二中 一年 父
山岸 明
山岸 光男

五月晴 久々の外 開放感
汗だくの 背中ながめる 散歩道

中村一中 一年 母
愛澤 慧治
愛澤 美香

ゲームでは 私が先ばい 教えるよ
コロナ禍で 始めたゲーム 教えられ

原町二中 一年 母
飯崎 未結
飯崎 智美

夜の空 あたりをてらす 散る火花
夜の空 暑さ吹き飛ぶ 夏の華

中村一中 一年 父
菊地 玲央
菊地 寿也

「期待してー」 私が目指す 母の味
母の味 目指す腕前 期待以上

原町二中 一年 母
北原 未那
北原 愛

コロナでも いつでも会えるよ リモートで
速くても 笑顔は近くで 感じるね

中村二中 一年 祖母
神戸 美咲
元浦 加代子

電子機器 やりすぎ背後に せまる危機
「もう少し」 そんな言葉は 耳にたこ

原町二中 一年 母
白石 斗真
白石 陽子

画面ごし ぐんと伸びた背 わかるかな
コロナ禍の 電波へのせる さとごころ

中村二中 一年 父
四方 聡
四方 勝

コロナでも 離れていても 心ひとつ
乗り越えて 終息したら また逢える

原町三中 一年 母
齊藤 煌希
齊藤 由紀

甲子園 テレビ独占 六時間
球場に きっと届くよ その熱気

中村二中 一年 母
岡崎 航平
岡崎 郁子

息切らし 家へと急ぐ 学期末
ただいまと 帰る子の声 母笑顔

石神中 一年 母
渡辺 倅叶
渡辺 奈々絵

六年間 送り迎えを ありがとう
通学が 自転車になり さびしいな

向陽中 一年 母
中村 天道
中村 寛美

お母さん もっとはなれて はずかしい
外へ出る くっつきたくても ディスタンス

鹿島中 一年 母
遠藤 颯大
遠藤 宏美

背くらべに 娘を見上げる 夏休み
夏休み 背丈が伸びて 母を越す

向陽中 一年 母
林田 千明
林田 愛永

ランニング 気付けば後ろに 母がいる
ランニング 知らない間に ウォーキング

鹿島中 一年 母
百田 大誓
百田 亜紀子

母とする 課題はすでに 母のもの
するすると 口から出ちゃう 母心

向陽中 一年 母
阿部 倫子
阿部 恭子

ひさびさの 海水浴の 塩の味
子笑顔 波に漂う 磯の風

鹿島中 一年 母
寺島 隆太
寺島 瞳

【中学校 二年生】

迎え火や 帰省の先祖に 手を合わせる
新盆も 規制で親戚 リモートで

姉帰省 僕に寄生は やめてくれ
帰ったよ 飛びつく背中 は 高かった

忘れない あなたがくれた 一冊の絵本
ありがとう 想っているよの メッセージ

先輩と 絆が強く つながった
この事態 最後の力を 出しきれず

夏山に 手足ふるえ 槍めざす
穂高から 限界越えて 遠い槍

浴衣着て お祭り気分 家の庭
密着して 家族四人の 盆花火

家にいる 氣象予報士 明日はどう
孫思い 天気図調べ 答えだす

目が覚めて 毛布に気づく 部活あと
前を向く 必死の姿 垣間見て

暑い日に 苦瓜のため 母思う
苦瓜と 娘の思いで 疲れとぶ

短期でも やらねばならぬ 宿題を
我が娘 替わってやれぬ 卒業は

寂しいな 面会謝絶 ひいばあば
マスク着け 移すなコロナ 合言葉

背も足も 母より少し ぬかしてる
にぎらせて 手はまだ少し 負けてない

今までの 幸せ気づく コロナ禍で
下むくな 早く作ろう いい未来

ふたば未来学園中

楢葉中 一年 母 小山田 琉乃
小山田 聡子

木田 剛生
木田 怜那

尚英中 二年 母 佐藤 芭葉
佐藤 明子

尚英中 二年 母 目黒 綺衣
目黒 美和子

中村一中 二年 父 川崎 駿輔
川崎 陽一

中村一中 二年 母 佐藤 結花
佐藤 麻美

中村一中 二年 祖父 齊藤 咲歩
齊藤 正一

中村一中 二年 母 齊藤 一
齊藤 淑子

中村一中 二年 母 石突 美乃
石突 美保

中村二中 二年 父 猪狩 奈那
猪狩 多賀吏

向陽中 二年 祖母 山田 真寛
山田 とし子

向陽中 二年 母 藤田 悠未
藤田 留美

原町一中 二年 妹 綾部 柗哉
綾部 乃愛

先輩と 流した汗は 宝物
プロよりも 私が愛した このチーム

今だから 相手の気持ち を 考えて
マスクなし あの日と変わらぬ 日常に

部活動 きずなを深め 団体戦
個人戦 よきライバルの 僕と君

この時期に そばに行かない 優しさよ
いつの日か 肩組み合える その日まで

犬飼って STAY HOMEも 喜びに
未っ子に 妹できたよ 鼻べチャ犬

レタスとキャベツ 違いが分からず 怒られた
臨時休校 親子で作る 夜ごはん

父さんと 密に過ごせた 家キャンプ
父と子の 夢語りあう 家キャンプ

いつてらっしゃい その一言で 頑張れる
何よりも パワーの源 子の笑顔

自肅中 家庭科授業 母先生
ほめちぎる 娘のやる気 急上昇

見ていてね パパの分まで がんばるよ
いつまでも 2人であなたを 支えるよ

口げんか 目線が合うまで もう少し
目が合って 思わず吹き出し 仲直り

曾祖母に 供える誕生日の ケーキ
亡き祖母を 迎える青の 盆提灯

数々の 無償の愛を ありがとう
愛溢れ 心身共に 伸び育つ

送り火に じいちゃんまたねと 思い込め
子の姿 重なる記憶 父の顔

原町一中 二年 母 鎌田 健太郎
鎌田 優子

原町一中 二年 父 平山 拓海
平山 智

原町一中 二年 小池 優翔
葉倉 千尋

原町一中 二年 武田 隼弥
工藤 涼太

原町二中 二年 村上 晴菜
村上 優子

原町三中 二年 母 佐藤 榛芳
佐藤 早織

石神中 二年 母 伊東 蒼良
伊東 友美

鹿島中 二年 母 高橋 杏奈
高橋 映美

鹿島中 二年 母 伊藤 寧音
伊藤 真純

鹿島中 二年 母 宮本 陽菜
宮本 美奈

鹿島中 二年 金子 光希
金子 実聡

小高中 二年 母 高野 日和
高野 亜希

富岡一中 二年 母 原田 蒼史
原田 綾子

広野中 二年 父 高原 圭吾
高原 伸次

夏の日はまだかまだかと 蟬想う
猛暑来し 鳴り響く声 胸躍り

広野中 二年 母

落合 紗代
落合 志保

雨の朝 傘さし髪を 結ぶ友
私のかき 持ってくれた 思いやり

原町一中 三年 母

佐藤 心幸
藤橋 七海

夏マスク 家族の笑顔 台無しだ
マスクでの 思い出写真 笑顔咲く

いいたて希望の里学園

八年 母

庄司 大夢
庄司 麻希

笑み浮かぶ 日だまりの中 桜道
育ちゆく 孫も桜も 花開き

原町二中 三年 祖母

松崎 里帆子
半谷 恵美子

コロナ禍の 夏に影落つる 花火かな
葉ごもりの 夏の夜照らす 子の花火

ふたば未来学園中

二年 母

紺野 一剣
紺野 由里子

夏休み 最後に残る 十七字
最終日 卒のバトン 受け完了

原町二中 三年 父

庄司 謙三
庄司 岳洋

【中学校 三年生】

何枚目 写真撮りすぎ お父さん
この瞬間を 撮っておきたい 愛娘

中村一中 三年 父

保坂 天音
保坂 友則

実習で 姉が帰宅 会話ゼロ
話したい 気持ちを抑え 日誌書く

石神中 三年 姉

櫻 百奈
櫻 美咲

地上にも 青空にも咲く 笑顔かな
大空に 絆つないだ ニコマーク

中村一中 三年 祖母

松尾 勇樹
宍戸 基恵子

たまにでも 口で言おうよ ありがどう
ごめんなさい 画面越しの ありがどう

石神中 三年 母

伊東 美鈴
伊東 陽

夏祭り 消えた光と 小さな火
暗きよを なおかつ照らす 家族の灯

中村一中 三年 母

横山 愛
横山 優子

流星群 平和を願う 屋根の上
英霊の 命の重み 伝えゆく

鹿島中 三年 母

西 恵美莉
西 敦美

ふくしまに 笑顔とどけた 甲子園
拍手から 思いを込めて 『ガンバレ』と

中村一中 三年 父

篠木 美菜子
篠木 良夫

まかせてね 母の手代わりに 大仕事
お願いね 小さなママに 感謝です

双葉中 三年 母

脇坂 玲名
脇坂 真里

イライラで 素直になれず 口答え
いくらでも 受け止めてやる 親の愛

中村二中 三年 母

荒木 美咲
荒木 祐里

集大成 叶わなかった 中体連
この思い 未来へつなぐ ラケットに

川内中 三年 母

遠藤 葵
遠藤 洋子

いつの間に 背丈腕力 追い越した
「レディーゴー！」 本気で挑んだ 腕相撲

中村二中 三年 母

前田 力
前田 加代子

ユニフォーム 袖も通さず 引退し
歩むのみ この悔しさを バネにして

向陽中 三年 母

河田 凧咲
河田 千賀子

三年生 最後の野球 楽しんだ
コロナ禍で 応援自粛 祈るだけ

向陽中 三年 母

増子 航誠
増子 栄子

雨上がり 共に見上げる 梅雨の虹
立ちて見し 母娘のまなざし 明けて虹

原町一中 三年 教師

藤木 千尋
竹原 美由紀

コロナ禍 何も出来ずに 下を向く
前向いて 乗りこえた先に 希望あり

原町一中 三年 原町一中 三年

舟山 碧人
高橋 春樹



一次審査通過作品（復興部門）

【小学校 一年生】

ふっこのの きざしあかるく ふねうかぶ
 大漁で にぎわう港 夢近し
 こうえんで よつばのくろーばー みつけたよ
 海風の 防災公園で 福さがし
 つなみきた わたしはしらない いちねんせい
 妹に 経験伝える 六年生
 あさおきて せんこうあげる ばあばにね
 亡き母に 逢わせてあげたい 三姉妹

新地小 一年 角 優莉菜
 祖母 角 洋子
 駒ヶ嶺小 一年 伏見 陽音
 祖母 伏見 よし子
 原町三小 一年 西内 星藍
 母 西内 実菜
 石神二小 一年 志賀 ほの花
 母 志賀 扶実枝

【小学校 三年生】

海のそば たくさん見える 小さな木
 いつの日か 命を守る 津波から
 笑顔だよ 町も私も ふくしまも
 変わりゆく 町もあなたも もう九才
 お父さん 地しんの話 聞かせてよ
 あの人に 生まれた娘は 三年生
 ふっこのの みらいへつなげ 道の駅
 わがふるさと 活気あふれる 第一歩
 六時には とんぼが来るよ 歌も来る
 夕焼けと 歌ととんぼの 広野町
 夏の海 なみにおされて 楽しいな
 こわい波 乗り越えて今 はしゃぐ波

中村一小 三年 大網 瑠莉
 母 大網 貴恵
 中村二小 三年 高橋 来那
 母 高橋 みずほ
 桜丘小 三年 加藤 百恵
 父 加藤 文彦
 原町二小 三年 門馬 みらい
 母 門馬 絵美
 広野小 三年 長野 咲希
 五年 長野 円花
 太田小 三年 磯山 妃龍
 教師 齋藤 浩子

【小学校 四年生】

じょうばんせん ひたちがきたよ そうまえき
 何両だ 数える姿 楽しそう
 震災に 生まれ我が子 反抗期
 三兄妹 けんかするほど なかがいい
 百円 小さな希望 続けたい
 がんばろう 支援続ける さいごまで
 どこ行くの どこまで続く 大型車
 いつ完成 他県ナンバー ソロソロと
 負けないぞ 元にもどすぞ 前むきに
 支え合い 復興して行く 未来へと

桜丘小 四年 佐藤 秋翔
 母 佐藤 幸愛
 鹿島小 四年 榎内 幸人
 父 榎内 颯
 上真野小 四年 大和田 莉緒
 母 大和田 裕香
 小高小 四年 井島 彩絵
 母 井島 友美
 熊町小 四年 菅内 果音
 父 菅内 聖

【小学校 五年生】

この景色 未来のそのまた 未来にも
 山に海 あふれる自然 次世代へ
 海の側 父が作りし 防はてい
 未来ある 子供の笑顔 守りたい
 スーパーで よく見て選ぶ うちの母
 季節ごと 食べて応援 福島産
 しん災時 二才の私 記おくなし
 記憶ない わが子に震災 語り継ぐ
 復興で 景色がたいぶ 変わったよ
 見えるもの 知った真実 見えぬもの
 げんばつの 復興進む 福島県
 ロボテスで 夢と未来を 感じとる

福田小 五年 目黒 裏栞
 父 目黒 喜彦
 八幡小 五年 阿部 未来
 父 阿部 和好
 中村二小 五年 菅野 澤久
 母 菅野 栄久帆
 飯豊小 五年 瀬戸 望々花
 母 瀬戸 三樹
 原町一小 五年 坂本 竣
 母 坂本 聖子
 太田小 五年 堀内 惇広
 父 堀内 浩明

震災は 記憶に無いから 記録見る
いつの日か きっとあなたも 語り継ぐ

祖父とする 浜辺でゆっくり ランニング
にぎやかに 実家に集合 子供達

富岡の 命をつなぐ 長い橋
架け橋で 何時何時も 安心に

復興へ みんなの希望 1チーム
浜街道 親子で走る 夢街道

【小学校 六年生】

ひ災地と 募金でつながる 恩返し
助け合い 世界で継ぐ 気持ちの輪

朝日差す 復興の海 父の汗
大漁と 無事を祈って 船を待つ

流れ行く 黒い袋と 景色かな
つながった 常磐線に 乗ってみる

富岡は 自然が多い いい所
あの日から 9年経って ふるさとに

石神二小 五年 母 佐久間 倫
佐久間 里美

鹿島小 五年 母 目黒 颯人
目黒 育美

富岡一小 五年 父 児玉 琴心
児玉 守智

広野小 五年 父 北郷 蒼大
北郷 幸生

駒ヶ嶺小 六年 姉 志賀 美月
志賀 茉那美

中村二小 六年 母 菊地 美温
菊地 郁江

小高小 六年 父 高田 柚奈
高田 浩猛

富岡二小 六年 母 佐藤 清琉
佐藤 由花

北泉 愛しく哀しい 波の音
北泉 潮騒にみる 思い出たち

「おはよう」と 言える毎日 大切に
なにげない 日常こそが たからもの

ふるさとの 村の空気が なつかしい
避難して 我が家に帰る いつの日か

ありがとう 支援を受けて 伝えてく
被災地で 笑顔で生きる 恩返し

祈った やっと戻れた 故郷に
我が母校 我が子と歩く 同じ道

【中学校 二年生】

海道路 海を見るにも へい高し
坂道を のぼった先に 青い海

惜しみつつ 食べた早桃は 福島産
安全を 気にせず食す ありがたさ

育つ松 私が植えた 町の壁
育つ松 見るたび心 あたたまる

ふるさとに 戻ってきたよ ケーキ屋さん
今もなお 変わらぬ味に 舌つづみ

解体の 立ち合いあわれ ごみ屋敷
写真には 記憶うつるな ちっちゃなブーツ

【中学校 三年生】

再開に 心躍らす 常磐線
時を超え 心をつなぐ 浜街道

想う家 ソーラーパネル 戻れない
幼杉苗 大地に根付く 未来像

原町一中 一年 母 須藤 好
須藤 愛美

原町二中 一年 母 増山 空
増山 弓絵

原町三中 一年 母 星 菜々
星 理恵子

葛尾中 一年 母 伊藤 愛佳
伊藤 恵美

川内中 一年 母 横田 大和
横田 真琴

中村一中 二年 母 三浦 捺希
三浦 和佳子

中村二中 二年 父 吉田 波龍
吉田 直人

磯部中 二年 磯部中 福島 花菜
大和田 愛美

小高中 二年 母 片岡 涼芭
片岡 真喜子

広野中 二年 祖母 笹原 よし
井上 愛海

中村一中 三年 父 阿部 修英
阿部 勝弘

向陽中 三年 祖母 大谷 朱望
大谷 律子

故郷に 光が少し 灯りけり
久方の 車窓に映えて 咲くツツジ

待ちわびた 九年越しに 波の音
「遠かったあ」 九年越しは 自転車で

守りたい 意志表れた 防波堤
北泉 子供の笑顔 おかげさま

空の下 風に揺られて 香る縮
田園の 豊作願う 黄金色

震災の 爪痕消えゆく 九年目
復興で 景色変わる 複雑さ

道の駅 にぎやかになった 浪江町
ヒラメ釣り 請戸漁港 大漁だ

また会おう 晴れた故郷の 空の下
支え合う 人々の愛 ここにある

僕たちの 希望の里に 笑顔咲く
凜と咲く 夏草茂みの ゆり白く

原町一中 三年 西 広翔
母 西 久恵

原町二中 三年 武内 秀太
母 武内 幸恵

石神中 三年 津浦 那月
母 津浦 貴子

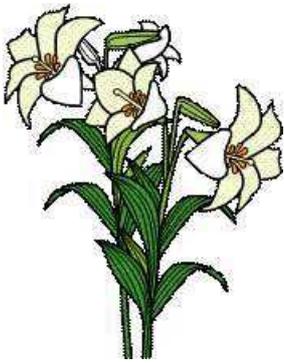
石神中 三年 岡田 綾菜
母 岡田 愛海

鹿島中 三年 中川 晃成
母 中川 美紀子

なみえ創成中 三年 舟ヶ崎 晏那
母 舟ヶ崎 麻美

大熊中 三年 長谷川 心音
母 長谷川 ゆかり

いいたて希望の里学園 九年 岡部 真翔
母 岡部 良子



「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」に

関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- 互いが心をかよわし、それをことばで伝え合う素敵な企画です。
(中学・父)
- 夏休みは、十七字を親子で考えるのが、一大イベントです。楽しく考え、絆も深まります。
(中学・母)
- 日頃、十七字で詠む事はあまり無いので、物事とじっくり向き合える良い機会だと思いました。
(小学・母)
- 子どもといっしょに考えられる貴重な時間がとれて、とてもいいことだと思うので、これからも続けて欲しい。
(小学・父)
- 親子でひとつのことを考えるきっかけになり良い機会でした。
(小学・母)
- 毎年楽しく取り組んでいます。十七字に込められる様々なその時々への思い。大切な思い出となりました。
(小学・母)
- 子供と共通のことに悩んで考える時間になりました。楽しい時間でした。
(小学・父)
- 母と楽しく考えられてとても楽しかったです。
(小学六年)
- 夏休みの風物詩的なものになっており、息子と一緒に十七字の文を考えるのが楽しい時間となっている。
(小学・父)
- 今年は、初めて母ではなく、「姉とやりたい。」と言い、姉達とラインで五七五を楽しんでいました。
(小学・母)
- 毎年、夏休みに孫と一緒に考えるのが楽しいです。
(小学・祖母)
- ありがたい事業です。指で文字を教え、娘と顔を見合わせて笑っています。
(小学・母)

- 毎年、親子で参加しています。家族のコミュニケーションにしています。
(中学・父)
- 親子で五・七・五を考え、自分の思いを言い合う時間がとても楽しかったです。
(小学・母)
- 中学になってからは、子供の方から「五・七・五、考えよう。」と言ってくるようになりました。毎年、夏の楽しみです。
(中学・母)
- 自分の好きな言葉で、このような十七字が出来てよかった。
(中学二年)
- 毎年楽しく取り組んでいます。十七字に想いをのせるために、親子の会話も増えます。すてきな事業です。次回も楽しみです。
(中学・母)
- 毎年考えた十七字。今年で最後になりました。うまく考えられなかったけど、親子で楽しめました。
(中学・母)



発行：福島県教育庁相双教育事務所 総務社会教育課

〒975-0031 南相馬市原町区錦町一丁目30番地

Tel(0244)26-1315 Fax(0244)26-1318
